

嘉麻市社協だより

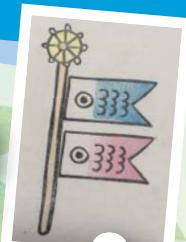
発行日/2017.5.1

えかごよ

No.135

消しゴムで
ハンコを作ったよ

子育てグループかまっぷ



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

f <https://www.facebook.com/kama.swc>

従来の介護予防から、 地域づくりへの転換

～協議体と生活支援コーディネーター～

介護保険制度の改正により、新しい介護予防・日常生活支援総合事業が始まりました。これまで、要介護予備軍の方を対象に身体的精神的機能の向上を目指し、介護予防サービスを利用してきましたが、これからは、すべての高齢者が社会参加を通して、要介護状態にならないよう、生きがいをもって住み慣れた場所で生活していくことのできる地域づくりを目指すことになりました。

嘉麻市では、平成29年4月から5つの中学校区に「協議体」が設置され、「生活支援コーディネーター」が配置されました。

協議体とは、地域のことをよく知っている市民や関係者が集まって、不安に感じていることや心配なこと、あつたらい的なと思うことを話し合う場なので、どなたでも参加できます。

生活支援コーディネーターは、協議体に参加する方が話しやすい雰囲気を作り、あがつてきた地域課題を整理し、みなさんと一緒に解決に向けてどんな活動ができるのかを考えていきます。

いろんな相談をしてください～出張窓口開設～

協議体の開催時間に合わせて、出張相談窓口を開設しています。

介護の問題に限らず、生活の中で不安に感じていることや悩んでいることを話してみませんか？

社協の職員が話を聞きながら、課題を整理し、あなたと一緒に解決に向けてできることを考えていきます。

お知らせ

なつきちゃんにし・ひがし(稲築地区)

- 5月18日(木)10:00～ 稲築保健センター
- 6月15日(木)10:00～ 稲築保健センター

嘉麻い隊うすい(碓井地区)

- 5月12日(金)10:00～ 飯田公民館
- 6月9日(金) 13:30～ 人権啓発センターあかつき

あっとふるやまだ(山田地区)

- 5月9日(火)13:30～ 山田生涯学習館
- 6月10日(土)10:00～ 下山田公民館

嘉穂ますます会(嘉穂地区)

- 5月8日(月)13:30～ 夢サイトかほ
- 6月12日(月)10:00～ 千手いこいの家

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

3月17日に開催された平成28年度災害ボランティアネットワーク連絡会は、今回で何回目になるでしょうか？

問題

- (1) 2回目
(2) 3回目
(3) 4回目

● 応募方法
①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、5月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先 〒820-10205
嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会
E-mail:tiki@kama.syakyo.com

● 前号のクイズの答え
(3) 権利擁護
2月17日のフォーラムで学んだのは、権利擁護でした。

● 応募のあった方から社協だよりの感想をいたしましたので、紹介します。

・ホットユースのなかで、小学生の認知症サポートについて読みました。彼らが頼もしく見えました。
・成年後見Q&Aは毎号参考にしています。
※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。





今月のブログ

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>
(ブログのアドレスが変わりました)

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

稲築地区配食サービス、スタート 2017年4月1日(土)

4月1日から、稲築地区の配食サービスを嘉麻市社会福祉協議会が行うようになりました。利用者の皆様に喜んでいただけるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



お弁当についてのお問合せやご意見は、
山田・稲築地区配食サービス事業所へ

電話 0948-53-0838

嘉麻市社会福祉協議会

電話 0948-42-0751

山田ふれあいハウス からのお知らせ

子育てリユースセンター

山田ふれあいハウス2階では、家庭で使わなくなったけど、捨てるにはもったいないといった子育て用品を持ち寄ってもらい、必要な方が自由に持ち帰ることのできる子育てリユースセンターを開設しています。

先日も、子育て中のお母さんが来館され、同じ子育て中の方に使ってもらいたいと、洋服やおんぶひもを持って来てくださいました。

センターには、洋服や帽子、靴などがそろっていますので、気軽に立ち寄りください。



連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス

嘉麻市上山田502番地6 ☎ 0948-52-1847

開館 毎日(年末年始を除く) 午前9時～午後5時まで

平成29年度 一般会計資金収支予算書

●事業活動による収支	
(収入)	
会費収入	1,605
寄附金収入	3,650
経常経費補助金収入	39,946
助成金収入	102
受託金収入	70,093
貸付事業収入	100
事業収入	34,570
介護保険事業収入	31,786
障害福祉サービス等事業収入	12,669
受取利息配当金収入	102
その他の収入	167
事業活動収入計	194,790
(支出)	
人件費支出	163,405
事業費支出	53,343
事務費支出	6,665
貸付事業支出	100
助成金支出	2,132
負担金支出	532
事業活動支出計	226,177
事業活動資金収支差額	▲ 31,387

●施設整備等による収支	
(収入)	
施設整備等収入計	0
(支出)	
施設整備等支出計	0
施設整備等資金収支差額	0

●その他の活動	
(収入)	
拠点区分間繰入金収入	277
サービス区分間繰入金収入	30,490
その他の活動収入計	30,767
積立資産支出	100
拠点区分間繰入金支出	277
サービス区分間繰入金支出	32,161
その他の活動による支出	4,873
その他の活動支出計	37,411
その他の活動資金収支差額	▲ 6,644

●予備費支出	
●当期資金収支差額合計	▲ 40,425
●前期末支払資金残高	40,425
●当期末支払資金残高	0

(単位：千円)



Q

成年後見制度
支援事業の利
用申し立てを
したいのですが、申
し立てに必要な書類の
「登記されていないこ
との証明書」とは、ど
ういうものですか？

A

「登記されていないことの証明書」とは、成
年後見制度における保護、支援を受けてい
ないことを証明するものです。
証明書は、全国の法務局・地方法務局の戸
籍課窓口で取得することができます。
また、郵送でも申請は可能ですが、東京法務
局後見登録課のみでの取り扱いとなります
のでご注意ください。

29年度事業計画

～孤から個へ 個から地域へ～

監査)

主財源の確保、財政状況に応じた支出の削減)

区バス待合所・児童遊具の管理、チャイルドシート・車いすの貸出

飲料水自動販売機の設置、紙おむつの宅配事業、空き家管理事業)

修会や講習会への参加)

一人ひとりとの関わりを大切に、
目の前の問題を一緒に解決して
いきます。

そして、地域のみなさんと共に、
支え合える地域を目指します。

かま権利擁護センター

- ・日常生活自立支援事業の基幹的社協(飯塚市・嘉麻市・桂川町)としての事業推進
- ・地域福祉権利擁護事業(個別支援計画の策定と支援)
- ・深刻な生活課題の課題解決(審議会の開催)
- ・適性な事業運営と透明性を確保(運営委員会の開催)
- ・課題の共有と支援の均質化(定期的な支援員会議の開催)
- ・適性な事業運営と透明性を確保(運営委員会の開催)
- ・安心と豊かな老後生活の支援(遺言書作成支援事業、エンディングノートの推進)
- ・法人後見等の実施及び積極的受任
- ・生活再建に向けた寄り添い型支援(諸費立て替え事業)

・生活再建 ・権利擁護 ・安心で豊かな生活 ・孤立の防止

かま自立相談支援センター

- ・自立相談支援事業(生活に困っている方の相談受付、アセスメント、支援計画、モニタリング)
- ・家計相談支援事業(家計に関する相談受付、支援)
- ・フードバンク事業(食材の募集・提供・管理、食材提供協力先の開拓等)
- ・生活福祉資金貸付事業(生活福祉資金利用に関する相談受付、支援)
- ・無料職業紹介事業(求職者と県内事業所の斡旋、センター利用対象からの求職申し込み受付、情報提供、個々に応じた就業先の開拓)

・地縁、血縁、社縁の構築 ・生活再建 ・多重課題の整理、解決

かま障がい者地域生活支援センター

- ・障害児者の地域生活に関する相談受付及びアセスメント
- ・居場所、行ける場所づくり(日中一時支援事業、子育てサークル等との交流等)
- ・障害者総合支援法に基づく指定計画相談支援事業の実施

・子育て不安の解消 ・誰も排除されない地域づくり

かまボランティア・市民活動センター

- ・ボランティア、市民活動センター運営
(広報紙・ブログ・SNSによる情報発信、ボランティア活動保険の周知と助成枠の活用促進、ボランティア活動コーディネート)
- ・災害ボランティアセンター事業
(連絡会の開催、災害ボランティア運営訓練、被災地への職員派遣、ボランティアバスの運行)
- ・ボランティア、市民活動センター運営委員会
(ボランティア運営委員会の開催)

・連帯 ・防災、減災 ・助け合い

嘉麻市社会福祉協議会 平成

法人運営

- ・適正なかつ透明性のある法人運営(理事会、評議員会、内部監査、外部監査)
- ・財政基盤の安定及び各種財源の確保(助成金・民間財源の活用及び自立支援)
- ・市民生活に密着した事業の推進(アルミ缶等リサイクル事業、稲築地ふるさとポストカードの販売、葬祭場の指定事業、初盆世帯供物事業、墓石販売)
- ・職員体制の充実及び職員の資質向上(ストレスチェック制度、各種研修)

- ・信頼
- ・信用

かま生活支援・相談センター

(コミュニティワークセンター)

- ・総合相談の充実(法律相談、心配ごと相談、かまワン相談員と連携した相談支援体制づくり、電話による福祉なんでも相談(24時間・365日))
- ・中学校区をエリアとした地域福祉活動の推進(コミュニティソーシャルワーカーの配置、地域福祉推進委員会・協議体・学習会の開催、生活支援コーディネーターの配置、出張相談窓口の開設等)
- ・地域福祉部の拡充と活動支援
- ・小地域ネットワークの推進、ふれあいきいきサロン
- ・社会資源の創出(かま福祉ネットワーク委員会、地域支えあい事業)
- ・安心で安全な地域生活(緊急時通報システム)
- ・広報活動(広報紙の発行、ホームページ・SNS等による情報発信)
- ・当事者を孤立させない(在宅介護者定例会、認知症家族の集い開催)
- ・居場所、行ける場所づくり(寄ってこハウス)
- ・子育て世代の孤立を防ぐ(リユースセンター、おしゃべりサロン)

- ・孤立の防止
- ・見守り
- ・課題解決
- ・共助

相 談

かまひきこもり相談支援センター

- ・ひきこもり相談(電話、訪問、地域や関係者からの情報収集とアセスメント)
- ・ひきこもりに関する理解を深める(勉強会、家族集い定例会の開催)
- ・居場所づくり(フリースペース)

・孤立の防止 ・子育て不安の解消 ・見守り ・仲間づくり

介護保険事業(在宅福祉推進部門)

- ・居宅介護支援事業(嘉麻北居宅介護支援事業所)
- ・訪問介護事業(嘉麻北訪問介護事業所・南訪問介護事業所)
- ・障害者総合支援法に基づく居宅介護、重度訪問介護等事業、同行援護、移動支援事業

受託事業(受託事業管理運営部門)

- ・配食サービス事業
- ・高齢者生きがい活動支援通所事業
- ・生活管理指導員派遣事業

公の施設の指定管理事業

- (福祉施設等管理・経営部門)
- ・山田ふれあいハウス

かまボランティア・市民活動センター情報

平成29年3月17日(金)、午後1時から平成28年度第3回災害ボランティアネットワーク連絡会を開催しました。

この連絡会は、市内外の関係機関や団体、個人で災害ボランティア活動をされている方などに集まってもらい、災害に備えて顔の見える関係を築き、連携を深めていくことを目的に開催しているものです。

初めに、熊本地震におけるかま災害ボランティアセンターの取り組みを報告したのち、それぞれの活動について情報を共有し、意見交換を行いました。

その中で、団体で物資を集めて、熊本まで持つて行ったが、時間が経過し、その時に必要とされているものを届けることができなかったという話がありました。ボランティアセンターとしてスピード感をもって的確な情報を収集し、発信することの重要性を改めて感じました。また、嘉麻市で災害が起きたときに、地元の人でしかできない活動があることから、より多くの機関や団体に参画してもらい、日頃から顔の見える関係をつくっていくことを確認しました。



午後3時からは、かまボランティア・市民活動センター運営委員会を開催しました。

平成28年度活動状況について報告し、委員のみなさんから今後の取り組みについて話し合いました。

今年度は、熊本県の災害現場での活動を希望する若い世代のボランティア登録が多かったことから、災害訓練など今後に生かした取り組みを行い、できたつながりを深めてはどうかとの意見がありました。

委員のみなさんからいただいた貴重な意見を、センターの今後の活動につなげていきたいと思います。

イベント情報

馬見山山開きが開催されます。山登りに興味がある方など、お気軽にご参加ください。事前申し込みなどは不要です。

日 時 5月14日(日) **集合・出発** 9:00

集合場所 馬見山登山口(馬見山キャンプ場隣道駐車場)

内 容 山頂にて安全祈願、餅つき及び交流会、
参加者には記念品の進呈があります。
ぜんざいを200食用意します。

そ の 他 登山靴、雨具など各自でご準備ください。
大雨の時は、登山は終了。安全祈願祭、
餅つき、ぜんざいは馬見山キャンプ場で
します。

問い合わせ

090-4475-1422
(益田まで)



※参加者の方に配られます

ボランティア募集情報

本会が実施する障がい児日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

日 時 土曜日、祝日 8時30分～17時
※ご都合の良い時間帯だけで構いません。

場 所 嘉麻北日中一時支援事業所
(嘉麻市鴨生339)

内 容 障がいのある子どもたちの遊び相手、
宿題の補助など

備 考 動きやすい服装や時間帯によっては
お弁当、飲み物をご準備ください。



炭鉱の記憶



当時学生だった和田正光さん（嘉穂）に話を伺いました。

三井山野鉱業学校の学生が作ったトロッコ練習坑道が残っています。この坑道は、旧三井山野鉱業学校採鉱科の実習で、1週間に8時間かけて作られたそうです。地面を掘るのではなく、山を作る要領で組み立てていき、昭和32年から3年かけて完成しました。

和田正光さん

この練習坑道では、坑内の木枠組や採鉱技術の練磨、事故や爆発、火災、出水に備えた、救護隊による災害救助活動の訓練が行われていました。

和田さんは、練習坑道外の草刈りに使う鎌研ぎも任されていたそうですが、「斧で木材を切り、『かけや』で打ち込みよつた」と懐かしそうに話されました。

炭鉱の作業は危険が伴う命がけの仕事であり、学生時代から入念な訓練が行われていたそうです。

練習坑道入口には柵があり中には入ることができませんが、当時使われていたものがそのまま残っているため、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

No.122

大人はどうして働くの？

著者 宮本恵理子さん
日経BP社



一冊です。



就職をサポートする仕事柄、ふとタイトルが目にとまりこの本を手にとりました。

この本は、様々な分野で活躍する7人が「人はなぜ働くのか」をテーマに、今の職業に就いた経緯や転機、日頃感じているやりがいや目標について語っています。子どもと大人、それぞれに向けた構成になつておらず、親子で楽しめる本です。

単にお金を稼ぐこと、収入を得ることだけが働くことではないと思います。家で家事をしているお母さんも、家族を支える役割を担つており、それが合った働き方やそれをじっくり考えるきっかけがあります。働くことについて、人らしく輝ける居場所があるのです。

一度訪れてみてはいかがでしょうか。

（かじ）

法人運営 INFORMATION

下記のとおり、理事会を開催しました。

第57回理事会

《開催日》平成29年3月17日(金)

- ① 議案第170号 規程等の一部改正について
- ② 議案第171号 特定理事の選出について
- ③ 議案第172号 平成28年度補正予算について
- ④ 議案第173号
平成29年度事業計画及び収支予算について

第41回評議員会

《開催日》平成29年3月24日(金)

- ① 議案第77号 平成28年度補正予算について
- ② 議案第78号
平成29年度事業計画及び収支予算について

新人職員紹介



4月3日、今日は、辞令交付式があり、3名の新人職員が嘉麻市社協に仲間入りしました。
3名の職員が自己紹介をします。

藤井 克典(ふじいかつのり)

今年度から嘉麻市社会福祉協議会に入職致しました。藤井克典と申します。常に初心を忘れずに日々精進したいと思います。

碓井校区の生活支援コーディネーターを担当することになりました。まだまだ右も左も分からぬ私ですが、地域住民のみなさまと一緒に勉強しながらともに学んでいきたいと思います。一つ一つの事を丁寧に行い地域福祉作りができるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

中野 咲喜(なかのさき)

本年度から、嘉麻市社会福祉協議会でお世話になっております中野咲喜と申します。皆さんと一緒にあつたらしいなと思う活動や仕組みをつくっていきたいと思っています。新しく始まった協議体では嘉穂校区の担当となりましたので、嘉穂校区のステキなところをたくさん発見していきたいと思います。嘉麻社協の職員として地域の皆さんから気軽に話しかけていただける存在になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

伊藤 紗稀(いとうさき)

はじめまして、この度稻築東校区のコミュニティワーカーとして配属されました伊藤紗稀と申します。

伊藤という苗字の方が多い地域ですが、メガネの伊藤と覚えていただければ幸いです。

趣味は音楽鑑賞と旅行です。まだまだ分からないことばかりですが、皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

終活は、人生の最期を迎える前の生前準備のことです。終活に欠かせないのがエンディングノートではないでしょうか。書きやすいところ、興味のあるところから書き、緊急時（終末期医療についての希望、貴重品や保険の連絡先など）に必要なことを最初に書いておくと安心です。



終活は、人生の最期を迎える前の生前準備のことです。終活に欠かせないのがエンディングノートではないでしょうか。書きやすいところ、興味のあるところから書き、緊急時（終末期医療についての希望、貴重品や保険の連絡先など）に必要なことを最初に書いておくと安心です。



嘉麻市下山田9-1
(0948) 52-1212

**セレモニー・ホール
おおつか**

指定葬祭場紹介

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、セレモニー・ホールおおつかを含め、市内に8ヶ所あります。

かほ葬祭	あじさい会館	☎ 62-5566
善光会館	稻築会場	☎ 83-5000
おかむら葬祭岡村会館		☎ 42-4420
飛鳥会館	南斎場	☎ 42-4241

きど葬祭やまさ碓井斎場	☎ 62-4499
ひさづね会館	☎ 52-0758
いすや会館	☎ 57-4444

稻築東中学校
バレーボール部の思い出

稲築を離れ、早五十数年になり、現在大阪や奈良で仕事をしています。私が中学校に入学したのは、昭和三十五年、団塊の世代の真中で、一学年十三クラスで教室が不足していました。稲築東中学校は、当時クラブ活動が盛んで、特に運動部は柔道・剣道・卓球・バスケット・バレーボール等福岡県大会で優秀な成績をあげていました。私は、入学し、少ししてバレーボール部に入りました。その当時バレーボール部は、男子が福岡県大会三年連続優勝、女子も素晴らしい成績を収めっていました。そのため男子、女子とも大世帯で、当時練習は、外のグラウンドでコートを作り、三・四面のバレー場を使用していました。また、コートでは、稻高バレー部（現）

奈良県北葛城郡在住
大島 博さん 鴨生出身



ふるやとくの
手紙
No.135

在の稲築志耕館高校バレー部）も同練習することがあり、その練習風景は迫力満点です。私たち同期生は、部員が少なく、先輩・下級生の力を借り、練習に打ちこみました。

バレー部の先生からは、早朝のサーキットの練習から日が暮れるまで熱心に指導していただきました。先生は、練習中は非常にきびしく、私たちは張りつめた空気の中で、正月休み以外、毎日練習に明け暮れました。

私たちの時代は、県大会優勝できませんでしたが、後輩たちは、四度、県大会に優勝し、女子も優秀な成績を収めました。先生は、練習の進め方・試合の作戦といいすばらしい教育者であり、スポーツの名将である

キヤンブ（英彦山・関の山）などすばらしい思い出があります。先生からいろいろなお話しを聞かせていただきま

したが、強く印象に残っている言葉は、「本物になれ」という言葉です。短い言葉ですが、今少しずつ意味がわかるような気がし、少しでも先生の教えに近づけたらと思います。今も

時々バレー部のOB会が開かれています。私も出来るだけ出席していきたいと思います。嘉麻市のこれからのご発展を祈っております。

編集後記



(きはら)



(おがわ)



(あかま)



(いとう)



(なかの)



(ふじい)



(かじ)

今回、新しく入職した3名の編集後記の似顔絵をフリースペースに来られているTさんが描いてくれました。柔らかなタッチの絵をいただき、優しい気持ちになりました。

協議体の開催日に合わせて、出張相談窓口を開設しています。介護保険制度に関するだけでなく、生活上の様々な不安や悩みをお聞かせください。

P6のかまボランティア・市民活動センター情報に毎月、地域のボランティア情報やイベント情報を掲載しています。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

今回初めて「炭鉱の記憶」の取材を担当し、懐かしい思い出を語ってくださる方々のおかげで、「炭鉱の記憶」が続けられているということがわかりました。これからも皆様の思い出を大切に記事にさせていただきたいと思います。

今回、初めて広報紙に携わりました。これから地域のみなさんに、嘉麻市社会福祉協議会がどんなことをしているのか、楽しみながら知って頂けたらと思います(^^♪

初めて広報紙の作成に携わり、何を伝えたいのか、そしてどうやったら伝わるのかを、日々考えています。難しい作業ですが、少しづつ向上できるように作成に尽力していきます。

今月の一冊では、「人はなぜ働くのか」をテーマに書かれた本を紹介しました。大人も子どもも読める一冊です。働くことの意味や価値について、家で子どもたちとじっくり話してみようと思います。

嘉麻市社協 出前講座のご案内

① 社協って、なんしようと？

社協って、どんなことをしているところなんだろう？という素朴な疑問にお答えします。顔の見える関係づくりや実施している事業、会員会費等について、お話をします。

② 災害に強いまちづくり

災害時にも助け合える日常のつながりやマップづくり、災害ボランティアセンターの役割等についてお話をします。

③ 認知症サポーター養成講座

認知症になつても安心して暮らせるまちづくりについてお話をします。認知症サポーターの目印となるプレスレット（オレンジリング）を配布します。

④ ふれあい・いきいきサロンって楽しいよ

サロンや地域福祉部のことについて詳しくお話をします。

⑤ 社会参加による介護予防

地域で暮らし続けるために大切なことの一つに社会参加があります。役割を持ち、地域で活動することは介護予防につながります。「何もできない」ではなく、「できることを探す」ことについてお話をします。

⑥ 映画上映会（1時間30分から2時間）

昔懐かしい映画のDVDと機器を貸し出します。事前申請書の提出が必要です。

サロンや地域の集まりに伺います！ぜひお声掛けください！
※時間は、30分から60分程度で、土・日・祝日も大丈夫です。

嘉麻市社会福祉協議会 かま生活支援・相談センター
(コミュニティワークセンター)

☎0948-42-0751